

災害現場における被害状況等を早期かつ広範囲で把握し、より高精度な消防活動を実施するため無人航空機を導入します



令和7年（2025年）6月5日
東海市記者会見資料
予 防 課

災害現場における映像などは、現場の様子を明確に記録する重要な役割があり、特に、上空写真は、被害状況などを把握する上で有効であるため、「無人航空機」を導入し、より高精度な消防活動を目指します。

【事業内容】

○ 導入予定機体

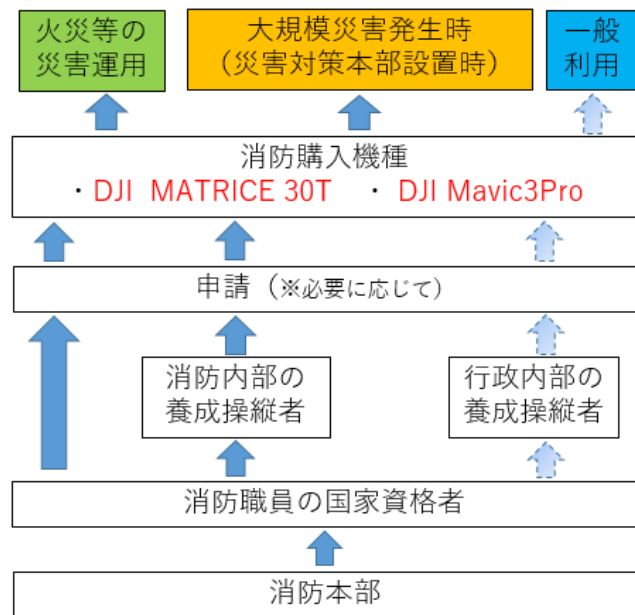
- ・ DJI MATRICE30T サイズ/重量：470mm×585mm/3.7kg
飛行時間：41分 風速：15m/s
主な仕様 ズームカメラ サーマカメラ 広角カメラ
- ・ DJI Mavic3Pro サイズ/重量：347mm×283mm/920g
飛行時間：43分 風速：12m/s
主な仕様 ズームカメラ 広角カメラ

○ 操縦資格者の確保

国家資格者 消防職員2名が取得します。
国家資格者以外 国家資格を取得した消防職員が内部養成をします。

○ 活用事例案

- ・ 全庁的な活用
非常時（大規模災害時）における災害対策本部の指示による情報収集
- ・ 消防本部の活用
火災活動 延焼拡大範囲の確認及び要救助者の有無の確認
原因調査時における上空写真の撮影
救助等 要救助者の検索 危険物施設の点検等



※ 消防職員の国家資格者が行政内部の操縦者を養成する件については暫定的な措置です。

【予算措置】

<歳入>

地震防災対策事業費補助金 1,680千円

<歳出>

無人航空機購入・維持管理事業 3,510千円



ドローン（マルチコプター）